

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成24年11月29日(2012.11.29)

【公開番号】特開2012-198771(P2012-198771A)

【公開日】平成24年10月18日(2012.10.18)

【年通号数】公開・登録公報2012-042

【出願番号】特願2011-62590(P2011-62590)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/041 (2006.01)

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

G 0 3 G 21/16 (2006.01)

G 0 3 G 21/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/041 3 2 0 A

G 0 6 F 3/041 3 5 0 C

G 0 6 F 3/041 3 2 0 F

H 0 4 N 1/00 C

G 0 3 G 15/00 5 5 4

G 0 3 G 21/00 3 8 6

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月20日(2012.9.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 3】

図 2 には、第 1 パネル 1 0 0 および第 2 パネル 2 0 0 が、第 1 パネル 1 0 0 および第 2 パネル 2 0 0 の長手方向に沿ってスライドする構成を例示するが、短手方向に沿ってスライドしてもよい。さらに、複数の軸方向にスライドするように構成してもよい。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像形成装置に装着された、表示面を有する操作パネル装置であって、

前記表示面と平行な面に沿って相対移動可能に構成された第 1 および第 2 のパネルを備え、

前記第 1 のパネルが前記画像形成装置に固定されており、

前記第 2 のパネルは、前記第 1 のパネルに対して前記画像形成装置が位置する側とは反対の側に配置されており、

前記第 2 のパネルの前記表示面と平行な面に対する投影面積は、前記第 1 のパネルの投影面積より小さく、

前記第 1 および第 2 のパネルは、前記第 1 のパネルと前記第 2 のパネルとがいずれの相対位置にあっても露出する領域に配置された第 1 群のキーをそれぞれ含み、

前記第 1 のパネルは、前記第 1 のパネルと前記第 2 のパネルとが重なっていないときに

のみ露出する領域に配置された第 2 群のキーを含む、操作パネル装置。

【請求項 2】

前記第 1 群のキーは、前記画像形成装置で実行可能な複数の処理にわたって共通に使用され、

前記第 2 群のキーは、前記画像形成装置で実行可能な複数の処理のうち、前記第 1 群のキーが使用される処理の数より少ない数の処理に使用される、請求項 1 に記載の操作パネル装置。

【請求項 3】

前記第 2 のパネルに装着された、前記表示面を提供する表示装置をさらに備える、請求項 1 または 2 に記載の操作パネル装置。

【請求項 4】

前記第 1 のパネルの前記第 2 群のキーは、数字を入力するためのキー群を含む、請求項 3 に記載の操作パネル装置。

【請求項 5】

前記第 1 のパネルと前記第 2 のパネルとを相対移動可能にする機構は、前記第 1 のパネルの前記第 2 群のキーが配置される領域の露出量を複数段階に異ならせるように構成されている、請求項 1～3 のいずれか 1 項 に記載の操作パネル装置。

【請求項 6】

前記第 1 のパネルと前記第 2 のパネルとは、第 1 の向きおよび前記第 1 の向きとは反対向きの第 2 の向きのいずれにも相対移動可能であり、

前記第 1 のパネルは、前記第 1 の向きに相対移動したときに露出する領域に配置された第 1 の第 2 群のキーと、前記第 2 の向きに相対移動したときに露出する領域に配置された第 2 の第 2 群のキーとを含む、請求項 1～3 のいずれか 1 項 に記載の操作パネル装置。

【請求項 7】

前記第 1 のパネルと前記第 2 のパネルとは、第 1 の向きおよび前記第 1 の向きとは反対向きの第 2 の向きのいずれにも相対移動可能であり、

前記第 1 のパネルの前記第 2 群のキーは、前記第 1 の向きに相対移動したときに露出し、かつ、前記第 2 の向きに相対移動したときにも露出する領域に配置される、請求項 1～3 のいずれか 1 項 に記載の操作パネル装置。

【請求項 8】

前記第 1 のパネルの前記第 2 群のキーは、さらに、数字を入力するためのキー群に近接して配置された割込みキーを含む、請求項 1～7 のいずれか 1 項 に記載の操作パネル装置。

【請求項 9】

前記第 1 のパネルの前記第 2 群のキーは、さらに、数字を入力するためのキー群に近接して配置された音声ガイドキーを含む、請求項 1～8 のいずれか 1 項 に記載の操作パネル装置。

【請求項 10】

前記第 1 のパネルの前記第 2 群のキーは、さらに、文字を入力するためのキー群を含む、請求項 1～9 のいずれか 1 項 に記載の操作パネル装置。

【請求項 11】

前記第 1 のパネルの前記第 2 群のキーは、さらに、数字を入力するためのキー群を含む、請求項 1～10 のいずれか 1 項 に記載の操作パネル装置。

【請求項 12】

前記第 1 のパネルは、前記第 2 群のキーが配置された可動部を含み、

前記第 1 のパネルと前記第 2 のパネルとが第 1 の向きに相対移動することに対応して、前記可動部は、前記第 1 のパネルにおいて前記第 1 の向きとは反対向きの第 2 の向きに相対移動する、請求項 1 に記載の操作パネル装置。

【請求項 13】

前記第 1 のパネルと前記第 2 のパネルとが相対移動することで露出する領域に対応する

、前記第 2 のパネルの稜線部は、非直角の形状に構成されている、請求項 1 に記載の操作パネル装置。

【請求項 1 4】

前記第 2 のパネルにおいて、前記第 2 のパネルの移動向きと同じ側に前記表示装置が配置されるとともに、当該移動向きとは反対側にキーが配置される、請求項 3 に記載の操作パネル装置。

【請求項 1 5】

前記第 1 のパネルと前記第 2 のパネルとが重なっていない状態を固定するための固定機構をさらに備える、請求項 1 に記載の操作パネル装置。

【請求項 1 6】

前記固定機構は、前記表示面が存在する側とは反対の側から前記第 1 のパネルおよび前記第 2 のパネルを貫通するストッパを含む、請求項 1 5 に記載の操作パネル装置。

【請求項 1 7】

前記固定機構は、前記ストッパを付勢する機構をさらに含む、請求項 1 6 に記載の操作パネル装置。

【請求項 1 8】

前記操作パネル装置は、前記画像形成装置の排紙向きと反対側で、かつ、前記画像形成装置の側面から突出しない位置に配置される、請求項 1 に記載の操作パネル装置。

【請求項 1 9】

露出する領域を生じるために前記第 2 のパネルを移動させる向きは、前記排紙向きと同じ向きである、請求項 1 8 に記載の操作パネル装置。

【請求項 2 0】

露出する領域を生じるために前記第 2 のパネルを移動させる向きは、前記排紙向きとは反対の向きである、請求項 1 8 に記載の操作パネル装置。

【請求項 2 1】

請求項 1 ～ 2 0 のいずれか 1 項に記載の操作パネル装置を含む画像形成装置。